

# 経済財政運営と改革の基本方針2022等の記載について (大学ファンド等を通じた大学改革関連)

## (参考1) 経済財政運営と改革の基本方針2022 (抜粋)

イノベーション創出の拠点である大学の抜本強化<sup>[1]</sup>を図る。世界と伍する研究大学の実現に向け、競争的な環境の下で大学ファンドから支援を受ける国際卓越研究大学の持続的なイノベーション創出と自律化に資するよう、専門人材の経営参画等のガバナンス体制を確立する<sup>※1</sup>とともに、必要な規制改革等の対応を早期に実行していく<sup>※2</sup>。地域の中核大学等が、特色ある強みを発揮し、地域の経済社会の発展等への貢献を通じて切磋琢磨できるよう、産学官連携など戦略的経営の抜本強化を図る<sup>[2]※3</sup>。

[1] ソフト・ハード一体となった教育研究環境の整備等の共創拠点化の推進等。

[2] 「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」(令和4年2月1日総合科学技術・イノベーション会議決定)に基づく。

⇒大学ファンドに関するスケジュール (p.12)

※1 : 国際卓越研究大学法に基づく基本方針 (p.8~11)

※2 : 国際卓越研究大学の認定・研究等体制強化計画の認可の審査の流れ (p.13)

※3 : 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ (p.14~17)

## (参考2) 「新内閣の経済財政運営と年後半の重点課題」

(令和4年9月14日 経済財政諮問会議 民間議員提出資料) (抄)

(別紙)

○主な政策課題については、以下のような方向性を持ちながら、総合的・一体的に検討を進めるべきである。

(中略)

(非社会保障分野の経済財政一体改革)

(中略)

・大学ファンドを起爆剤とした、大学の経営的・戦略的・グローバル視点の改革等※。

⇒※ : 国際卓越研究大学法に基づく基本方針 (p.8~11)